

## 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川ふれあいセンター
	所在地	あきる野市平沢 1 7 5 番地 4
	所管課	健康福祉部 福祉総務課 福祉総務係
指定管理者	名 称	社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会
	所在地	あきる野市平沢 1 7 5 番地 4
	業務内容	1 市民の福祉活動を推進するための業務に関すること。 2 センターの利用に関する業務 3 センターの維持管理に関する業務 4 その他市長が必要と認める業務に関すること。
ホームページ URL		<a href="http://www.akiruno-shakyo.or.jp/fureai-center/index.html">http://www.akiruno-shakyo.or.jp/fureai-center/index.html</a>
指 定 期 間		平成 3 1 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日

### 2 施設の利用状況等について

項 目	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
開館等日数 (日)	334	334	335	271	298
利用者 (来客者) 数 (人)	31,067	32,608	34,542	7,904	10,938
前年度比 (人)	88	1,541	1,934	△26,638	3,034
前年度比 (%)	100.3	105.0	105.9	22.9	138.4
利用料金 (売上) 合計 (千円)	1,895	1,890	1,598	323	809
前年度比 (千円)	213	△5	△292	△1,276	487
前年度比 (%)	112.7	99.7	84.6	20.2	250.5

### 3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項 目		平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
収 入	指定管理料	19,807	19,807	21,488	20,501	21,539
	使用料収入 (売上)	1,895	1,890	1,598	322	809
	自主事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	121	112	187	680	57
	計	21,822	21,809	23,273	21,503	22,405
支 出	人件費	0	0	0	0	0
	維持管理経費	21,808	21,788	23,273	21,503	22,405
	自主事業関係経費	0	0	0	0	0
	その他の支出	0	0	0	0	0
	計	21,808	21,788	23,273	21,503	22,405
収支 (収入－支出)		15	21	0	0	0

#### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
施設を利用された方には、「秋川ふれあいセンター利用記入表」とともにアンケート用紙を渡し、利用した中で気づいたことや意見・要望を提出できるようにしている。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
ふれあい広場の水銀灯照明スイッチや受水槽の通気口の修繕を行うとともに、利用される方の安全面を考慮し、外壁面のタイル修繕、ボランティアコーナーの空調機の水漏れ修繕を行い、快適に利用していただくため、男子トイレの小便器センサーや各部屋の蛍光灯安定器等の交換修繕を速やかに行った。 また、台風等の暴風雨による被害を減らすため、定期的に樹木等の剪定を行い、安全性の確保に努めた。 そして、臨時休館をした際にも、利用予定団体に対して直接、電話連絡をして説明するとともに、ホームページにも施設の利用にあたっての注意事項を掲載するなど、情報発信を図った。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
利用しやすい施設とするために「秋川ふれあいセンター利用のご案内（パンフレット）」を窓口などに設置するとともに、安心して利用できるように正面玄関、1階のトイレ前、2階の階段脇に消毒液を、事務所カウンターにパーテーションを設置するなど、感染症防止対策を講じた。 また、グリーン（園芸）ボランティアの活動により施設外観の美化を行うとともに、施設内においては、障害者施設の創作活動で作製した絵や作品を展示し、来館者に障害者施設の活動を知ってもらう機会を提供するなど、気軽に立ち寄れる環境づくりに努めた。

#### 5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
デマンド監視装置による電気使用量の調整を行うと共に、サーキュレーターを導入し、室内の空気を循環させることで、エアコンの風量を少なくするなど、使用電力量の節減につなげた。 また、屋根のガラス部分には寒冷紗を、南側の中庭にゴーヤのグリーンカーテンを設置することで、室内温度の上昇を抑える対応を行うなど、節電の強化を図った。

#### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
秋川ふれあいセンターは、市民や団体の協力を得て施設周辺の環境美化や福祉事業などが実施されており、これらの活動に参加される方からの発信もあり利用者が増加していたが、令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、臨時休館や貸出施設の利用制限をしたことによって、コロナ禍前と比較して利用日数及び利用者数の減少が続いた。 また、施設自体、建設から25年以上が経過しているため、消防設備点検等での指摘事項も増えており、トイレの給水パイプの水漏れ、火災報知器や避難誘導灯の故障に対して修繕を行うなどメンテナンスを計画的に行っているが、修繕にかかる費用も増加傾向にあることから、修繕については、引き続き市と連携を図りながら進めていく。 今後も施設利用者等が安全かつ快適に利用できるよう、感染防止対策を講じると同時に、屋上や施設周辺に枯葉などが堆積しないよう清掃や点検を行い、良好な施設管理に努めていく。

#### 7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
コロナ禍前と比較して、施設利用者が減少しているなかで、しっかりと感染防止対策を講じ、市民や福祉関係事業者と連携を図り環境美化活動や福祉事業サービスを実施できています。また、利用者アンケートの創意工夫や利用者へ直接聞き取りを行う等、市民の意見を反映しやすい取り組みが行えています。
経費削減の取組
建物の老朽化により、修繕費用が増加しているなか、予算の範囲内で計画的にメンテナンスを行えています。また、グリーンカーテン・園芸ボランティアにより施設内の温度調整や外観美化に貢献しています。

業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
地域福祉推進機関として、美化活動や作品展示を行うことで気軽に立ち寄りやすい環境づくりに努めています。今後も、地域とのつながりやすい環境づくりを意識し、施設運営を行ってください。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。